

2024年度

第2回 理事会 議事録

公益財団法人北海道サッカー協会

2024年度 第2回 理事会

議 事 録

1. 日 時 : 2024年5月26日(日) 14時56分から16時21分

2. 場 所 : ホテルライフオート札幌 2階 ライフオートホールⅢ
札幌市中央区南10条西1丁目

3. 出席状況

(以下、全て敬称略)

(1) 理事総数 28名

(2) 理事定足数 15名

(3) 理事出席総数 17名

(4) 出席理事(17名)

越山 賢一、船田 清、鷺津 裕美、上田 充士、大岩真由美、八島 隆志、大橋 穰、
佐賀 主昌、今枝 映人、池端 一樹、中川 綾子、橋本 美湖、柴田 靖士、對馬 紀一、
安藤 亮一、鈴木 敏之、北国 浩

(5) 欠席理事(11名)

中山 明彦、藤井 陽一、荃津 都、吉田 昌一、磯辺 正道、八城 雅彦、岩田 薫、
由井 敏博、中田 孝一、館下 裕典、本山 哲司

(6) 出席監事(3名)

工藤 彰一、永浦 政司、吉川 賀恵

(7) 理事会運営規則第3条1項による、オブザーバー出席特任理事(1名)

佐々木大祐

(8) 理事会運営規則第3条2項による、オブザーバー出席者(1名)

野田 篤志(苫小牧FA理事長)

記録: 安芸瑞穂事務総長

4. 議 事

- <決議事項> 第1号議案 2023年度事業報告書承認の件
第2号議案 2023年度貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)
並びに附属明細書、財産目録承認の件
第3号議案 2024年度定時評議員会開催の件
第4号議案 スポーツ振興くじ助成事業の改善方策策定の件
- <報告事項> 第1号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件
第2号報告 2024年度国体スタッフ編成の件

(1) 定足数確認・議長選出

安芸事務総長より、理事総数28名中出席理事17名、欠席理事11名。定足数15名により、定款第38条に基づき、本会議は有効に成立していることが報告された。

また、理事会運営規則第3条1項および2項に基づき2名のオブザーバー出席が報告された。

続いて、定款第37条に基づき越山会長が議長となることを告げた。

(2) 議事録署名人・書記の選出

安芸事務総長より、定款第39条に基づき、会長及び本会議に出席した監事を議事録署名人に指名した。書記は安芸事務総長が務める。

議事録署名人	会長	越山	賢一
	監事	工藤	彰一
	監事	永浦	政司
	監事	吉川	賀恵

以上を確認後、佐々木特任理事より、発言があるため20分ほど場を設けるよう議長へ申し出があったが、オブザーバーは理事会で発言権がないこと、本日の議事進行に支障がでることからこれを却下した。本件に関する事項は、その他へ記載する。

(3) 議決事項

第1号議案 2023年度事業報告書承認の件・・・船田副会長、安芸事務総長

議案書に基づき、以下の説明を行った。

(船田) 2023年度は、コロナ感染症の影響を大きく受けることなく、300以上の事業を実施した。関係者の皆様へ心よりお礼申し上げる。

(安芸) 以下、説明

I 普及振興啓発事業

- ・U6キッズ巡回指導、フェスティバル事業が復活し、参加数が大幅に回復した。
- ・帯広市でフットサル日本代表戦を実施。チケットが完売した。

II 競技力向上事業

- ・トレセン事業が復活し、参加数が大幅に回復した。
- ・猛暑により実施内容を変更・中止した事業があった。
- ・夢きたれはトレセンの素泊まり限定で受入れた。11チーム、116名が利用した。

III 競技会開催事業

- ・高校選手権の決勝戦を、札幌ドームのホバリングステージで初開催した。

IV 指導者・審判員養成事業

- ・指導者養成は約50事業、審判員養成は約30事業を開催した。
- ・審判は2名が1級審判員に昇級した。

説明の後、出席理事より質疑なく、賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第2号議案 2023年度貸借対照表・損益計算書（正味財産増減計算書）

並びに附属明細書、財産目録承認の件・・・船田副会長、長濱事務局長

議案書に基づき、以下の説明を行った。

(船田) 事業がコロナ前の状況に戻ったことから収入および支出額が増えている。前年比約1,194万円の黒字決算となる。

(長濱) 以下、説明

1) 2023年度決算報告

- ・一般正味財産増減の部では、事業がコロナ前の状況に戻ったことにより収支が増額となっている。収支では1,119万円の黒字となった。
- ・指定正味財産増減の部では、100万円の減額となり期末残高では約3億6,118万となり、前年比約1,019万円の黒字決算となった。
- ・決算額の処分案として、保有施設であるフットボールセンターとトレーニングセンターハウスの老朽化による修繕費と、組織の維持及び事業を継続開催していくための財源として指定正味財産へ積み立てたいと考えている。

資産取得・改良資金	300万円	積立
組織運営資金	200万円	積立

2) 様式1 貸借対照表

	前年度	当年度
・資産合計	398,289,179円	407,393,828円
・負債合計	47,298,678円	46,208,376円
・正味財産合計	350,990,501円	361,185,452円
・負債正味財産合計	398,289,179円	407,393,828円

3) 様式2 正味財産増減計算書

	前年度	当年度	増減
・経常収益計	366,548,360円	393,510,866円	26,962,506円
・経常費用計	355,930,617円	381,869,915円	25,939,298円
・当期経常増減額	10,617,743円	11,640,951円	1,023,208円
・当期指定正味財産増減額	9,000,000円	-1,000,000円	-10,000,000円
・正味財産期末残高	350,990,501円	361,185,452円	10,194,951円

4) 様式3 財務諸表に対する注記

	当期増加額	当期減少額	当期末残高
・基本財産及び特定資産合計	11,220,000円	3,132,000円	207,534,228円

5) 資産取得・改良資金、指定正味財産積立

- ・資産取得・改良資金は10年目となる現在の計画が2024年度で終了となり、新たに300万円を積み立てることにより、フットボールセンターとトレーニングセンターの老朽化による今後の修繕費積み立てを開始する。
- ・指定正味財産・組織運営資金について、200万円を積み立てし、今後の組織運営資金が増額となり、緊急時に取崩可能な自己資金を備えることとなる。

6) 監査報告・・・工藤監事

- ・2024年5月11日(土)に行われた監査結果について報告された。
- ・会計処理及び業務執行についての状況を調査した結果、適正に会計処理されており、業務執行についても適正に行われている旨の報告があった。

説明の後、下記の質疑・意見等があった。

(對馬) 今後の事務局支援や交付金等の方向性や予定があれば教えて頂きたい。

(船田) 事務局支援の財源は、組織基盤整備事業の積立金取り崩しが2037年までである。以前示した減額に関しては、2024年度中に検討し皆さまにお示しする予定。

他に質疑・意見なく、出席理事に賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第3号議案 2024年度定時評議員会開催の件・・・船田副会長

議案書に基づき、以下の説明を行った。また、第2～4号議案の候補者名簿を開示した。

開催日時：2024年6月22日（土） 13:30～15:30（予定）

会場：ホテルライフオート札幌

議題：(1) 決議事項

第1号議案 2023年度貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)
並びに付属明細書、財産目録承認の件

第2号議案 2024-2025年度理事選任の件

第3号議案 2024-2027年度監事選任の件

第4号議案 2024年度評議員選任の件

第5号議案 2024年度評議員及び役員候補者推薦委員会委員選任の件

第6号議案 2024年度裁定委員選任の件

(2) 報告事項

第1号報告 2023年度事業報告書の件

第2号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件

第3号報告 2024年度事業計画・予算の件

第4号報告 2024年度5ブロック圏及び、地区連盟支援交付金の件

(3) その他

説明の後、下記の質疑・意見等があった。

(佐賀) 役員候補者名簿の、私の職業が未記載である。追記して欲しい。

(越山) 追記させていただく。

他に質疑・意見なく、出席理事に賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

第4号議案 スポーツ振興くじ助成事業の改善方策策定の件・・・安芸事務総長

議案書に基づき、以下の説明を行った。

例年、スポーツ振興くじの助成を受け、全道市町村サッカー大会を実施している。監査で2項目の不備が指摘されたため、本理事会で改善方策を策定し、日本スポーツ振興センターへ提出するものとする。

指摘事項1 他の経理と区分した収支簿と団体の会計帳簿の整理状況

改善方策 会計処理の際に、「くじ助成事業」という固有の言葉を用いて、他の経理と区分して処理する。

指摘事項2 契約手続き（二者見積り、仕様書、契約書、検査調書の不備）

改善事項 ・二者見積りを実施したものの未提出であった。提出資料の不備がないよう注意する。
・札幌ドームは、冬期間にこの規模の事業を実施できる唯一の施設であることから、止む

無く単独見積りとなる。そのことについて、事業申請時および報告時の書類に明記する。
また、札幌ドームへ発注の際には、仕様書を作成する。契約書については、使用申請書
および承諾書をこれに代えるものとし、事業終了後には、検査調書を取得するものとする。

説明の後、出席理事より質疑なく、賛否を諮ったところ、理事全員の賛成を得て原案のとおり可決した。

(4) 報告事項

第1号報告 業務執行理事の業務執行状況報告の件・・・船田副会長

資料に基づき、2024年3月17日から5月25日までの業務執行状況を報告した。

報告の後、出席理事より質疑・意見等がなく、これを了承した。

第2号報告 2024年度国体スタッフ編成の件・・・上田副会長

資料に基づき、2024年10月12日(土)より開催される「第78回国民スポーツ大会(佐賀県)」
へ派遣する北海道代表チームのスタッフについて説明を行った。

成年男子

代表/監督	岡田 慎司	北海道札幌東高等学校サッカー部/46歳/A級G
コーチ	柴田 慎吾	北海道コンサドーレ札幌 U-18/38歳/S級
コーチ	未定	
GK コーチ	佐藤誠一郎	札幌市立前田中学校サッカー部/36歳/B級・GK-L2
トレーナー	岡地光士郎	東海大学札幌校サッカー部/さっぽろ西野二股整形外科/33歳
代表/主務	太田 邦成	北海道札幌西陵高等学校サッカー部/48歳/B級・GK-L1

少年女子

監督	三澤 絢子	北海道大谷室蘭高等学校女子サッカー部/31歳/A級G
コーチ	中田 大夢	帯広大谷高等学校女子サッカー部/45歳/B級
コーチ	佐々木 俊	BELIND 旭川/42歳/B級
コーチ/主務	柴田 葵	旭川実業高等学校女子サッカー部/30歳/C級・GK-L1
トレーナー	小林 咲貴	指導チームなし/北海道社会事業協会帯広病院/27歳

成年女子

「北海道女子サッカーリーグ」前期(7/6・第7節)時点の首位チームに出場する権利が与えられる。
選手やスタッフを補強する場合がある。チーム編成決定の責任者を櫻庭副技術委員長とし、技術委員会と女子委員会が連携して決定する。

少年男子

2024年度の本大会は無し。柴田和千代技術委員を責任者として、次年度の選考方針を検討する。

報告の後、出席理事より質疑・意見等がなく、これを了承した。

(5) その他

①佐々木特任理事の件

(吉川) 佐々木さんが理事の職務の適正に関することを言いたいのであれば、監事へ言うよう案内して欲しい。

(越山) 佐々木さんには、突然理事会で発言するのではなく、常務理事会を経るなどの手順を取って

欲しいと事前をお願いしていた。今後は監事へ伝えるようにする。

(大岩) 事情はよくわからないが、多くの理事は、退席したほうがよいと考えたのではないだろうか。今後、佐々木さんには、然るべき形で意見を出して頂き、協会はそれをしっかり扱って頂きたい。今後のためにも、これまでの経過を記録してほしい。

(工藤) 今回のことは、正しい手法とは言えないが、佐々木さんは、これまで財務や夢きたれに多く関わってきた人物である。悪者にしないで欲しい。

(越山) 佐々木さんとは数度にわたり協議をしている。工藤監事の言うよう、これまでの佐々木氏の貢献は大きい。関係修復できるよう努力したい。

②9 地域連絡会議・JFA ジョイント・ミーティング報告・・・越山会長

- ・暑熱、熱中症、落雷のJFAガイドラインが古いため更新される。
- ・キリン自販機を設置し売り上げの一部を小学校へのボール配布等に使用する案がでていた。
- ・会議報告を議事メモとして配信する。皆さんとできる限り色んな情報を共有していきたい。

以上、議長は議事が全て終了した旨を告げ、16時21分に閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、会長、監事は記名し押印する。

2024年5月26日

公益財団法人北海道サッカー協会 2024年度 第2回理事会

会 長 越 山 賢 一 印

監 事 工 藤 彰 一 印

監 事 永 浦 政 司 印

監 事 吉 川 賀 恵 印